

全体	24
個別	05-01

平成29年度 [福祉保険部] 目標の成果

課名	福祉課
----	-----

No.	項目	高齢者・障がい者の生きがいの創出
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉サービス 在宅の高齢者が自立した生活を安心して送ることができるよう、環境整備と生活支援の推進を図ります。また、高齢者が地域で安心して暮らし続けるため、高齢者虐待防止ネットワークの活用を図ります。 ・障がい者福祉サービス 障がいのある方が安心して生活を営むことができるよう各種サービスの充実を図ります。 <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉サービス 高齢者が健康でいきいきした生活を送ることができるよう、在宅高齢者福祉サービス（高齢者生活支援事業・福祉のまちづくり推進事業）の充実を図ると共に高齢者虐待の発生予防・早期発見及び的確な援助を図り、高齢者の孤独死「ゼロ」を目指します。 ・障がい者福祉サービス 障がい者が地域において自立した日常生活及び社会生活を営むための各種サービスの充実と複雑・多様化しつつある障がい者のニーズに対し、柔軟に対応できるよう職員の育成に努め、苦情「ゼロ」を目指します。 	
	2. 実績（成果）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉サービス 関係機関と連携を密にし、平成29年度において、食の自立支援（配食サービス）延べ34,303回、生きがい活動支援（デイサービス）延べ375回、軽度生活援助（ホームヘルパー）、延べ175時間の助成を行いました。 ・障がい者福祉サービス 複雑・多様化する障害者のニーズに対応するため、平成27年3月に第4期対馬市障害福祉計画、平成28年3月に第2期対馬市障害者計画を策定し、障がいのある方が安心して生活を営むことができる支援体制づくりに努めています。 	
	3. 評価	○
	<p>高齢者福祉サービスについては、高齢者と直接対峙する機会を増すことで安否確認を行い、高齢者の孤独死を未然に防ぐことに繋がっています。また、障がい福祉サービスにおいては、職員の研修会等の参加により、知識と意識を高め、障がいをお持ちの方が安心してサービスが受けられるよう、関係機関と連携を図り、スムーズな事務処理に心がけました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>高齢化の進展に伴い、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加していくことが推測されることから、高齢者が安心して生活ができる地域づくりを目指し、関係行政機関や市内外の様々な関係施設等との連携体制を図り、サービスの空白地をなくす支援体制の整備に努めてまいります。</p> <p>複雑・多様化しつつある障がい者ニーズに対し、柔軟に対応できる庁内体制を整備するため、各種研修の充実等を図り、職員の福祉意識の向上に努めます。</p>	

全体	25
個別	05-02

平成29年度 [福祉保険部] 目標の成果

課名	こども未来課
----	--------

No.	項目	入所保留（待機）児童の解消
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>保育室等の面積要件により保育所への入所を保留（待機）している児童を、近隣の保育所の保育士を基準数を満たす人員を確保し、近隣保育所への入所を案内することにより入所保留（待機）児童の解消を図り、子育てしやすい環境を整備します。</p> <p>【指標】</p> <p>【入所保留（待機）児童数】</p> <p> 鶏知保育所：4名</p> <p> 比田勝こども園：3名 計7名</p>	
	2. 実績（成果）	
	<p>入所保留（待機）となっていた全ての児童を近隣の保育所へ案内し、保護者の理解を得て入所いただき、入所（待機）児童ゼロを達成できました。</p>	
	3. 評価	○
	<p>共働き家庭の増加や地域情勢の変動などにより、保育所への需要が集中している中であって、保育士の配置など対応が後手に回っている状況ですが、保護者のご理解のもと入所保留（待機）児童を解消できました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>慢性的な保育士不足の解消のため、CATVや市報を積極的に活用し、保育士の確保に努めます。また、保育室等の面積要件については、近隣の保育所の統合による認定こども園への移行検討や地域情勢を把握した配置計画の見直し検討を行います。</p>	